

フェアウェル さらば、哀しみのスパイ (2009)

L'AFFAIRE FAREWELL
FAREWELL

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 113分

初公開日 2010/07/31

公開情報 ロングライド

映倫 G

【キャッチコピー】

人は
希望で動く。
歴史は
信念で動く。

1981年——ソ連崩壊のきっかけとなった、ひとりの父親の真実の物語。

【解説】

ソビエト連邦を崩壊させたきっかけの一つともいわれる実在のスパイ事件“フェアウェル事件”を映画化したヒューマン・サスペンス。愛する息子と祖国の未来のため、危険なスパイ行為に及んだ男の実像と、民間人でありながら仲介役としてスパイ活動の一翼を担ったフランス人技師の葛藤を、それぞれの家族との関係を軸に描き出していく。主演は「パパは、出張中!」「アンダーグラウンド」などで知られる世界的映画監督のエミール・クストリッツァ。共演に「ヴィドック」のギヨーム・カネ。監督は「戦場のアリア」のクリスチャン・カリオン。

1981年、ブレジネフ政権下のソビエト連邦。KGB（ソ連国家保安委員会）の幹部、グリゴリエフ大佐は、国家の中枢に身を置くエリートとして何不自由ない生活を送りながらも、国の発展が西側諸国に大きく水を空けられていることに危機感を抱いていた。そして現体制の打破を期して、ソ連の重要機密を西側へ提供することを決断する。やがてフランスの家電メーカーの技師、ピエールを介して、西側が決して知り得なかった機密情報を次々と手渡していくグリゴリエフ。一方、フランスの国家機関からグリゴリエフ（コードネーム：フェアウェル）との仲介役を任されたピエールは、この危険な行為に戸惑いつつも、一切見返りを求めないグリゴリエフの清冽さに次第に心動かされていくのだが…。

【クレジット】

監督	クリスチャン・カリオン	Christian Carion
製作	ベルトラン・フェヴル フィリップ・ボエファール	Bertrand Faivre Philip Boëffard
製作総指揮	エーヴ・マシュエル	Eve Machuel
原作	セルゲイ・コスティン	Serguei Kostine
脚本	クリスチャン・カリオン エリック・レイノー	Christian Carion Eric Raynaud
撮影	ウォルター・ヴァン・デン・エンデ	Walther van den Ende
美術	ジャン＝ミシェル・シモネ	Jean-Michel Simonet
衣装	コリーヌ・ジョリー	Corinne Jorry

編集	アンドレア・セドラーチュコヴァー	Andrea Sedlackova	
音楽	クリント・マンセル	Clint Mansell	
出演	エミール・クストリツァ	Emir Kusturica	セルゲイ・グリゴリエフ大佐
	ギヨーム・カネ	Guillaume Canet	ピエール・フロマン
	アレクサンドラ・マリア・ララ	Alexandra Maria Lara	ジェシカ・フロマン
	インゲボルガ・ダプコナイテ	Ingeborga Dapkunaitė	ナターシャ
	フィリップ・マニャン	Philippe Magnan	
	ニエル・アレストリュブ	Niels Arestrup	
	フレッド・ウォード	Fred Ward	
	デヴィッド・ソウル	David Soul	
	ウィレム・デフォー	Willem Dafoe	